

すくいし 議会だより

No.83

2012. 10

編集 議会広報編集特別委員会

○今号の主な内容

議会改革の報告…2～3

9月定例会のあらまし…4～5

決算特別委員会…6～10

9月定例会採決結果一覧…11

町の考えをただす

一般質問 10議員が登壇…12～21

皆さんからのご意見／ふるさとへの便り(49) …22～23



次回選挙から4名減となる雫石町議会

議員定数 4 減 20人から 16人へ

雫石町議会改革特別委員会（坂下栄一委員長）は、9月21日に全体会を開催し、次回選挙（平成27年7月）から議員定数を16人とすることを決定しました。

同日の全体会では、これまでの検討や7月に実施した町民意識調査等の結果を踏まえて、次回選挙での議員定数を決定するための投票を実施しました。

議長を除く議員19人による記名投票の結果は、16が12票で最も多く、次いで18が5票、17が1票、20が1票でした。

今後、12月定例会で議員発議による議員定数削減の条例改正を予定しています。

雫石町議会 初の住民懇談会を開催

雫石町議会では、住民のみなさまから議会に対するご意見、ご要望をお聴きし、今後の議会活動に反映させるため、「議会と住民との懇談会」を8月下旬に開催しました。

当議会では、「もっと身近な議会、もっと開かれた議会」をめざし、昨年9月から議会改革特別委員会を設置して、議会改革についてさまざまな検討を進めていますが、懇談会もその一環として、このたび、雫石町議会として初めて開催したものです。

町内6会場で、延べ44名の住民のみなさまにご出席いただき、地域課題や議会に対するご意見、ご要望をお聴きすることができました。議員定数についてのご質問等が多く出されましたが、こうしたことも定数削減の決定に反映されたものと考えています。



雫石町議会として初めて開催された住民懇談会

ご意見等は、議会活動や町行政に反映するよう努め、地域課題等は町当局に伝えるとともに、議会での調査や質疑を通じて明らかにしていきます。

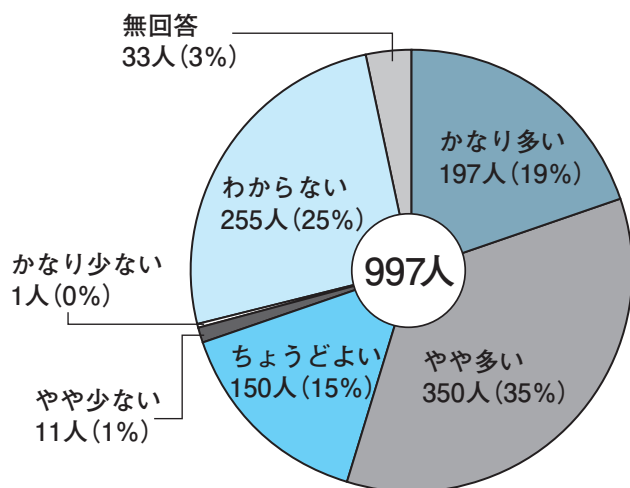
また、参加者からは、今後も定期的に開催してほしいのご意見が多かったため、次回開催に向け全議員で検討していくこととしています。

町民意識調査の結果

7月～8月にかけて行われた町民意識調査について、雫石町議会に関する部分の調査結果を公表します。
(18歳以上の町民のうち、住民基本台帳を基に地区・年齢・性別に均衡がとれるようにして無作為に1,100人を抽出して行ったものです。(回答率90.6% 997人))

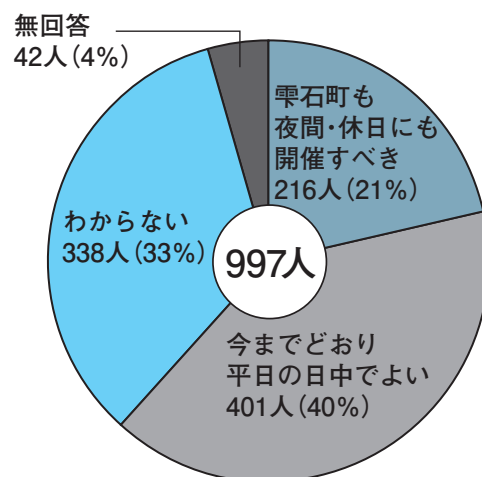
【設問1】

現在、雫石町議会議員の定数は20人ですが、これについてあなたはどのように思いますか。



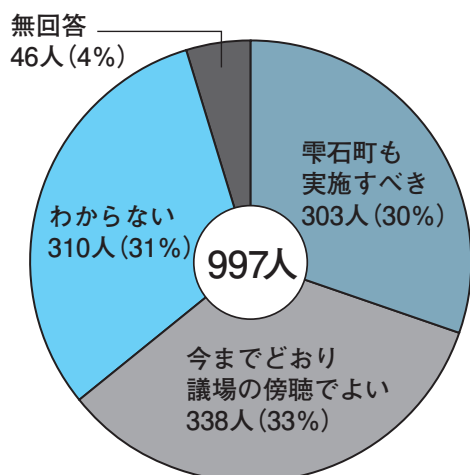
【設問2】

雫石町議会では平日の日中に議会を開催していますが、他の自治体の中には傍聴者のために、夜間・休日に議会を開催している例もあります。これについてどのように思いますか。



【設問3】

他の自治体の中には、議場での審議のようすを映像や音声で各家庭にインターネットを利用して配信している例もあります。あなたはこれについてどのように思いますか。



御所公民館での懇談会のようす

9月定例会のあらまし

総数 265 回の熱心な質疑応答、 23 年度決算を認定

平成 24 年度 9 月定例会は、9 月 7 日から 9 月 21 日までの 15 日間の会期で行われました。

本定例会では報告案件が 1 件、認定案件が 11 件、条例関連の案件が 5 件、補正予算案件が 7 件、同意案件が 1 件、その他案件が 2 件あり、これらの計 27 件の案件は全て原案通り可決・同意しました。

そのほかに、陳情が 1 件と請願 1 件があり採択、これを受け発議によりそれぞれ意見書を国および県に提出しました。

一般質問は、10 名が登壇し、町当局の考えをたしました。

9 月定例会の本会議（9 月 21 日）において、議会改革特別委員長は、議長に対し「議会改革特別委員会中間報告書」を提出しました。

検討項目の中で「改革」「現状維持」などの結論が出たものを報告しましたが、「当局に対する反問権の付与」、「議会報告会の開催」、「夜間・休日議会の開催」、「議会審議の映像配信」などは今後検討することとしています。

条例の制定

○雫石町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定

東日本大震災復興特別区域法に規定する復興産業集積区域とされた雫石町において、岩手県産業再生復興推進計画に定められた事業の用に供する施設・設備を新設、または増設した者に対する固定資産税の課税免除に関する条例を制定。

○雫石町暴力団排除条例の制定

町、町民および事業者等が丸となり、暴力団の排除を推進し、町民の安全で平穏な生活の確保と町における社会経済の健全な発展に寄与するために制定。

条例の一部改正

○災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関し、町長の諮問に応じ、重要事項を審査する組織として、災害弔慰金等審査会を置くため、本条例を改正するもの。

一般会計補正予算（主なもの）

○一般会計補正予算（第 2 号）

補正前の額	補正額	計
79 億 42 万 4 千円	3 億 4,786 万 2 千円	82 億 4,828 万 6 千円

▶財政調整基金積立金	1 億 3,631 万 0 千円
▶中学校耐震改修設計業務	2,298 万 4 千円
▶中央公民館昇降機耐震改修工事	2,105 万 3 千円
▶役場庁舎昇降機耐震改修工事	1,578 万 1 千円

主な質疑

問	総合福祉センター改修事業費補助金の内容は。
答	ボイラー設備の改修工事で総事業費の 2 分の 1 である。
問	中央公民館、役場庁舎昇降機耐震改修工事の内容は。
答	全部を取り替えるもので緊急防災減災事業債を充当する。
問	中学校耐震改修設計への町からの注文は。
答	補強か減築（3 階部撤去）かなどを含め、潤いのある豊かな学校生活の場にするための基本設計から実施設計までを要請している。



耐震化が計画されている雫石中学校

特別会計補正予算（主なもの）

○下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

補正前の額	補正額	計
10 億 2,126 万 7 千円	△ 7,789 万 0 千円	9 億 4,337 万 7 千円

▶汚水管布設等工事（減）	△ 7,900 万 0 千円
--------------	----------------

問

污水管布設等工事が当初予算から約4分の1減額理由と、今後の見通しは。

答

国への交付金要望に対して66%減額等による。32年度事業完了計画の見直しが必要になり、今後も整備途中であることから県、国へ働きかけていく。

報 告

○平成23年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について

実質公債費比率 13.3%

どうなりました請願・陳情

○請願第2号 私学教育を充実・発展させるための請願（採択）

提出者＝私学助成をすすめる岩手の会
会長 新妻 二男

○陳情第2号 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について（採択）

提出者＝全国森林環境税創設促進議員連盟
会長 板垣 一徳

発 議

○発議第1号 私学教育の充実・発展を求める意見書の提出について

私立学校は、公教育の一翼を担い学校教育の充実、発展に寄与している。現在、少子化などのより私立学校の経営基盤は厳しい環境に置かれており、保護者の学費負担は家計を大きく圧迫している。また、生徒一人当たりの教育費における公費負担額が公立学校と比べて低いことが、私立学校の教育条件が改善されない大きな要因になっている。

よって、私立高校に対する私学助成金をさらに充実させることを求める。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、岩手県知事

○発議第2号 地球温暖化対策に関する「地方財源確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、地球温暖化対策のための税の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」早急に構築することを求める。

提出先＝衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国家戦略担当大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣

人 事

○教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて

平成24年9月30日をもって教育委員の任期満了となる上野宏氏の再任に同意した。



氏名 ^{うわの ひろし} 上野 宏氏
(67歳、高前田行政区在住)
任期 平成24年10月1日～
平成27年9月30日

監査意見



本会議で監査意見を述べる枇杷監査委員

監査委員による決算審査は、公営企業会計6月26日、一般会計並びに各特別会計、基金運用状況、財産調書は7月11日から8月10日まで行われました。決算意見書の中から、一般会計について内容を要約してお知らせします。

決算意見書

町税の不能欠損額は、1,457万5千円となり、前年度と比較して2,200万1千円

の減となっている。年々減少傾向にあると見受けられるが、税の公平性を期するためにも顧問弁護士等に協議・相談するなど、法的措置も含め減額に努められたい。

なお、今後の事業実施にあたっては、引き続き費用対効果を検証しつつ、より一層健全な財政運営と重要な施策・課題に対し積極的に取り組み、「みんなが主役 誇らしく心豊かなまち しずくいし」の実現と住民福祉の向上に寄与されるように望む。

町当局に ⑥ 項目の意見を提言

意見

1

町内の医院、地区診療所の閉鎖の話がある。地域から医療施設がなくならないように、早急に方策を講じるべき。



意見

2

公共サービスに係る指定管理など、業務委託の最終責任は自治体にある。公共サービス基本法にのっとり、

より明確な事業報告義務を課すべき。



意見

3

各種委員会の女性登用は、目標の50%に向けて推進計画を示すべき。



意見

4

「道の駅豊石あねっこ」の駐車場は広いが駐車線の引き方が悪く、使い勝手がよくない。時期を見て使いやすい線引きに改善すべき。



意見

5

行政評価システムの成果が見えず、形骸化している。見直し改善を。



意見

6

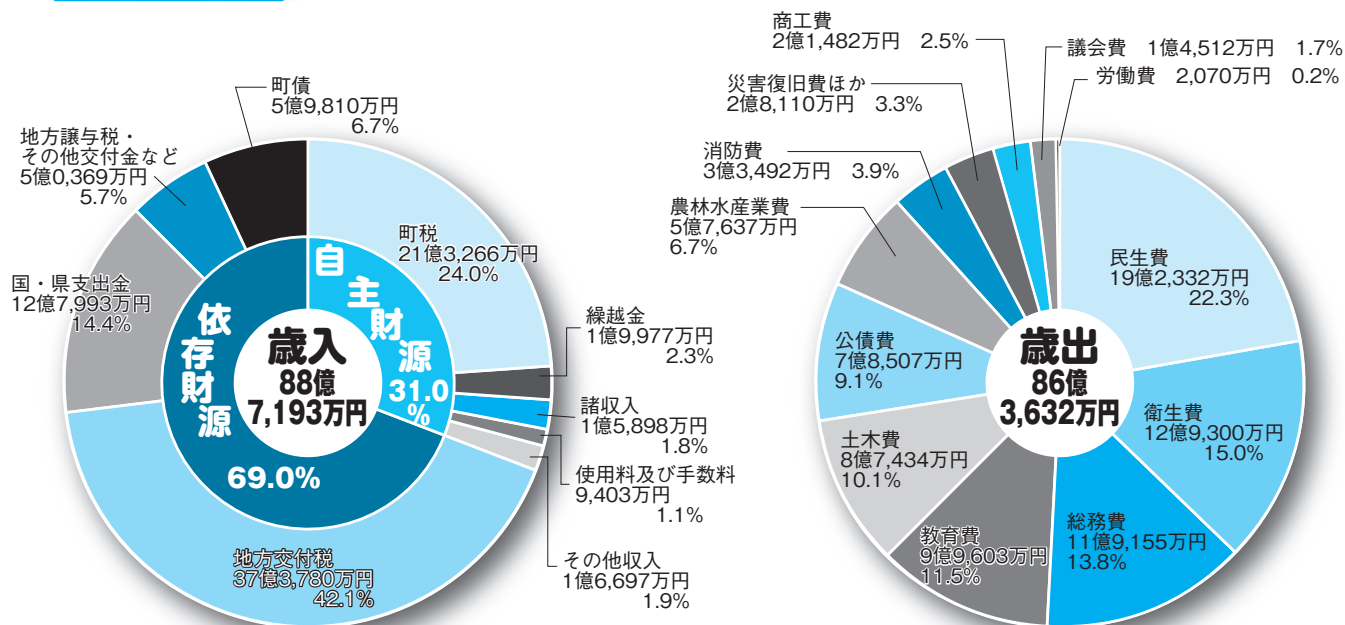
町のホームページ画面はいつ見ても代わり映えせず、特に広告が変わらずつまらない。広告の契約は1年ではなく、短くして変化を持たせるなど工夫を。



数字で見る決算

一般会計

歳入・歳出の内訳



歳入・総務費

問

10年前は一般会計での町債残高が約100億円あったが、今は60億円台後半まで減っている。今後も償還ペースを落とすことなく、やっていけないか。

答

町債残高は順調に減っているが、今後は中学校の耐震化、町営住宅の建て替えなどが考えられ、財政が厳しい状況にならないように取り組む。

問

この10年間で町税収入が2億円、平均で年2,000万円ほどのペースで落ちている。収入を確保する対策は。

答

町税収納率は向上しているが、額としては減少している。人口だけを考えれば将来的に減少傾向にあるが、経済の回復や所得の向上が図られれば増額に結び付くと考え。

問

固定資産税の収入未済額は町税未済額全体の約61%、不能欠損額では全体の88%と大きい。この解決手段と対策は。

答

固定資産税の収入未済額は、所得が増えないと解消は難しい。生活保障上差し押さえできない案件もある。

問

コンビニ収納は、どれだけ利用されているか。

答

8月末で4,474件、4,233万2,700円で町税全体の占める割合は件数で10.73%、金額で4.44%となっている。

問

福島原発事故関連で、損害賠償請求はしていると思うが、東電からの返事はどうなっているか。

答

これまでに原発放射線影響対策連絡会議でとりまとめた一次賠償、二次賠償の形で請求し、一次賠償については国の交付金で手当てされ、二次賠償については請求中である。

町民一人あたりの歳出金額

ワンポイント解説

民生費……主に高齢者、障害者、
子どもの福祉に使うお金



公債費……町債（町の借金）返済
に充てる経費



商工費……町内の商工業の支援や
観光振興などに使うお金



労働費……雇用対策や勤労者の支
援に使うお金



衛生費……健康づくりや環境対策、
ごみ処理などに使うお金



平成24年9月末
人口18,054人で試算



衛生費・民生費

問 あねっこバスの運営業務について、直接タクシー会社と契約せず、なぜ間に NPO が入るのか。

答 NPO は、運営主体という形であねっこバスの運行にかかわっている。主な業務としては、苦情や要望への対応、チケット管理のほか、運営全般で町との間を受け持つなどの活動している。

問 ひとり暮らしの高齢者が増えており、1 人の民生委員で3つの地区をまたがって見るのは大変だという話があるが、現状と改善策は。

答 民生委員が受け持つ世帯数は、地域によって差がある。民生委員法によって定数が決まっているが、補助員などを別に配置するようなことも考慮していく。

問 町民の慶弔について、役場の閉庁日に届け出があったものは新聞の慶弔欄に掲載されるのに時間がかかる。休日でも届けがあったものは、次の日の新聞慶弔欄に掲載されるようにできないか。

答 特におくやみの場合、届出者の意向を確認するなど、条件を勘案して実施検討をしてみる。

問

緊急通報システム設置運用業務委託料の 484 万 1,550 円の委託先、利用者数と実際の通報数とその時の対応は。

答

委託先は安全センター(株)と(株)寿広の2社。23 年度の実績は、システムの設置者が 102 人。毎月の安否確認を月 1 回行っている。緊急通報は 10 件あり、救急車にも対応を依頼した。

農林水産業費

問

耕作放棄地への対策、解消方法は。

答

農業委員の現地調査、地域の協力を得ながら指導はしているが、現状復旧には至っていない。引き続き指導を行いながら、地域の中でもできないか検討したい。

問

農業用水路を使った小水力発電などの可能性を調査する必要があると思うが、計画はあるのか。

答

岩手県及び市町村、賛同する改良区で小水力発電の協議会を設立した。22 年、23 年に岩手県の委託を受けて県の土地改良団体連合会が、町内でも調査を行っている。具体的にはまだだが、小水力発電の下準備が進んでいる。

商工費

問

いわて夏祭り in 小岩井事業費補助金 170 万円はいつから出して、事業目的は。滝沢村、盛岡市も負担しているか。

答

今回で 6 回目、滝沢村、盛岡市の負担額は 50 万円。夏の最後ということで 9 月の第一週に夏の名残を惜しんでイベントを開催した。

問

特産品販売活動の補助金について。町を代表するような特産品を何か一つでも発掘できないものか。

答

観光大使フォーラムの際、記念品ということで亀甲織の名刺入れと札入れを贈ったところ、「こんなに立派な特産品があるじゃないですか」と好評だった。24 年度は専門指導員を配置し、その他特産品を今度の産業まつりで試供品として出し、製品に結び付けたい。



観光大使に好評だった亀甲織

問

町のホームページ上では、観光協会の会員の方であろうがなかろうが公平に扱わなければならないと思うが。

答

ホームページについては、公金の投入等の背景も踏まえてしかるべき対策を考えたい。

土木費

問

町道除雪業務の委託は事業報告、作業時の損壊の報告と確認は行われているのか。

答

除雪部門の収支報告が提出されている。昨年度は雪が多かったせいで、かなりの道路の損壊や、様々な事故があった。これらについては写真を撮り、職員が全力所確認済みである。



除雪作業は慎重かつ迅速に

教育費

問

現在の町のスポーツ振興は現状維持止まりに感じるが、今後の町のスポーツ振興策をどのように考えているか。

答

町体協を含め各種目別体協の体制強化を図り、スポーツ振興に努めたい。

問

各種文化財再確認調査業務委託は、必要あるのか。

答

各文化財の調査が不十分であり資料が整っていないことから、全部再確認して記録として DVD などに残し、さまざまな方に紹介するという事業である。

問

指導主事の任用に対し負担金が支出されているが、指導主事がいない場合に悪影響があるのか。

答

いない場合、教育長、課職員が役割を担う事になるが、学校への指導、教員への指導は不十分になると思われる。学校としては、指導主事がいると安心して子どもへ対応できる。

特別会計

問 国保税の23年度当初予算では、一般会計から2億7,000万円の繰り入れ予定であったが、1億9,000万円ほどの減額繰り入れとなっている。監査意見書では「健全な財政運営ができるような適切な措置を望む」とあるが、町長の見解は。

答 かなり厳しい経済状況であり、近隣市町村の状況をみて、値上げをするかどうか判断しなければならない。一般会計からの繰り入れだけが続けるわけにはいかないので、検討中である。

問 国保に加入している世帯数、人数の変化はどうか。

答 世帯数は平成21年で2,936世帯、23年は2,866世帯と70世帯ほど減っている。人口は21年で5,569人、23年が5,326人と243人減と毎年約120人ずつ減っている。一方で後期高齢者数は、毎年約100人ずつ増加の傾向にある。

総括質問

問 地域開発研究所の研究によれば、当町の30年後の人口は約1万3,000人であり、毎年200人のペースで減少していくとのことだが、人口減少に対する施策は。

答 少子高齢化は国家の大問題である。定住、その他さまざまな施策を講じながら、人口減少を食い止めていくことが今後の大きな課題である。

問 指定管理が33件、業務委託が520件ほどあるが、指定管理、随意契約のガイドラインは十分に生かされているか。

答 内容を一つずつ精査しながら、予算編成に取り組んだ結果である。新年度に向け、改めて精査しながら予算計上する。

討 論

平成23年度の一般会計、特別会計および企業会計決算を認定することに対する討論が行われました。その要旨を紹介します。

賛成

加藤 眞純 議員

平成23年度は、東日本大震災の避難者受け入れや現地の救援活動や救援物資の収集提供など、町一丸となり取組み、復興支援にまい進した年度でもあった。このように通常以外の業務が増大した中でも、避難者にも温かい心配りをしながら、町税や国保税の収納率アップを図り、さらに財政運営の健全化にも努力が見受けられる決算であり、評価する。

一方、より良い財政運営に向け、委託業務、補助金、入札制度見直しの必要性や判で押したような事業、業務委託、補助金が継続されており、この際、思考パターンを変えるためにも、事業仕分けを実施する時機であることを申し添え、賛成する。

反対

西田 征洋 議員

一般会計の望まれる財政規模は幾らがよいか、議論が分かれるところだが、今後の地方債残高の推計も見ながら財政の硬直化を招きかねないかという点が第一の反対の理由である。また、委託料を含むNPO指定管理の対応に曖昧さがあり、町民もこの点に注目しており、一層の情報の透明さが望まれる。各款項目ごとの審査の中で真意の究明という点でも、町民の気持ちに沿った質疑応答という点でかなり不満があった。

とはいえ民生福祉の点で、これが零石というすぐれたやり方、他自治体が目を見張るものもあり、その点敬意を表する。我々が提起した点の反映もここ数年見られるものもあるが、もっと町民生活改善に大胆に応ずるよう希望し、期待を込めて反対する。

平成24年第7回雫石町議会9月定例会 議決結果等一覧 会期：9月7日(金)～9月21日(金)

議案 番号	議案名	議員名	田屋館愛子	幅秀哉	岩持清美	山崎留美子	加藤眞純	杉澤敏明	川口一男	前田隆雄	西田征洋	谷地善和	村田厚生	田中栄一	大村昭東	上野三四二	坂下栄一	坊屋鋪俊一	平子忠雄	煙山惣右衛門	石亀貢	採決結果
議案第1号	雫石町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	雫石町暴力団排除条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	災害対策基本法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	平成24年度雫石町一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	平成24年度雫石町国民健康保険特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	平成24年度雫石町下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	平成24年度雫石町簡易水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	平成24年度雫石町介護保険事業勘定特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	平成24年度雫石町立雫石診療所特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	平成24年度雫石町後期高齢者医療特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	災害弔慰金等支給審査会の委員の任命及び平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波に係る災害弔慰金等支給審査会の運営に関する事務の委託の協議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	平成23年度雫石町水道事業会計未処分利益剰余金の処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	平成23年度雫石町一般会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	平成23年度雫石町国民健康保険特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	平成23年度雫石町御明神財産区特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	認定
認定第4号	平成23年度雫石町下水道事業特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	平成23年度雫石町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第6号	平成23年度雫石町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第7号	平成23年度雫石町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第8号	平成23年度雫石町介護保険介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第9号	平成23年度雫石町立雫石診療所特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第10号	平成23年度雫石町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
認定第11号	平成23年度雫石町水道事業会計決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
同意第1号	教育委員会委員の任命に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議第1号	私学教育の充実・発展を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○…賛成、●…反対 欠…欠席 ※猿子議長は採決には加わりません。

住民との懇談会、
イロイロ言われたねえ
そろそろ本気で応えて、と。
時代は動いているもんね。

チョット
ひとりごと



質問者／
やまざき る み こ
山崎留美子 議員

環境基本条例制定から5年、見直しは

町長／特に問題ないと認識している

問 平成19年策定の環境基本条例から基本計画もできたが、日々の暮らしを取り巻く環境は年々変化して来ている。町は計画の実効性を高めるため、社会状況の変化等を踏まえ、必要なら見直しを行うとしている。条例文には、環境を本気で守る町の仕組みや方法が示されていない。制定から5年経ち、見直しが必要ではないか。

町長 条例の制定は極めて慎重に審議したもので、内容に特に問題ないと認識している。

問 基本条例13条には規制等の措置と書かれているが、個別の措置によって定めるとして具体的な規制内容には触れていない。矛盾しているように思うが、定めがあるとしたらどこにあるのか。

環境対策課長 規制については定めがない。

問 環境審議会が開催されているが、川井林業の現状についての説明や課題について、話し合いのテーブルに出されたか？

環境対策課長 その件については議題といったようなことはない。

問 情報の共有も含め、具体的事例を通し話し合うシステムが審議会と考えるが。

町長 審議会は固定したものではないし、さまざまなテーマについて審議をお願いできると思うので提案は承りたい。

問 町や町民、事業者等による環境推進組織の具体的事例は。

町長 まだ正式に立ち上げていないが、女性部5団体と環境を考える意見交換会等随時行っている。各組織の代表者で構成する組織を展開させ整備していく。



環境審議会のようす

■他にこんな質問もしました

- ・「放課後児童クラブの問題と改善について」も質問しました。

獣医に頼っている
農家って
多いんだよ。

チヨット
ひとりこと



質問者／
にしだ まさひろ
西田 征洋 議員

全農岩手の獣医師引き揚げに対する町の対応は

町長／診療は農業共済組合に、検査検診は体制再構築を

問 JA新岩手では家畜診療所の獣医師を今年度中に引き揚げ、ゼロにするという。

今まで牛の診療、各種検査検診は農協家畜診療所に獣医師がいたからこそ何とかやってこれたものであり、畜産農家、酪農家の不安の声が大きい。

町長 家畜診療所の獣医師は、現在は全農岩手が派遣駐在させているものであり、来年3月をもって打ち切り引き揚げの方針と聞く。

家畜の診療は、盛岡地域農業共済組合がカバーすることとされ、検査等の体制は先を見通したものが望まれる。

問 畜産を取り巻く情勢がより厳しくなっている。今、町の果たす役割がより大きいことを念頭に解決に力を注ぐべきだ。

生活保護行政が縮減の標的に

問 生活保護を受ける人の権利が狭められようとしている現在、町は窓口として対象者の掘り起しに力を注ぐべきではないか。

町長 受給資格の掘り起しというよりは、制度についての広報と相談にのっていきたい。

問 受給者並みの所得しかなくても受給できない人たちには、せめて国保税など税制面での減免を充実させるべきだ。



酪農、畜産農家の不安払しょくを



質問者／
すぎさわとしあき
杉澤敏明 議員

当町がいつまでも光り輝く町であり
続けるために守るべきもの、
それは地元の雫石高校である。
全町民で盛り立てて
いかなければならない。

**チョット
ひとりごと**

雫石高校を守り育てる方策を

教育委員長／活動や良さを周知していく

問 町も雫石高校の良さを中学生、保護者、町民に理解していただけるように、もっと周知していく必要があると思うが、どう取り組んでいくのか。

教育委員長 雫石高校では、学校広報紙「せんせき穿石」を毎月発行し、全戸に回覧している。また、雫石中学校との授業研究会、中学3年生の1日体験入学を実施し、交流を深めている。雫石中学校に雫石高校専用の掲示スペースを作り、高校の活動や良さを周知している。

問 雫石高等学校教育振興協議会長である教育長はどう取り組むのか。

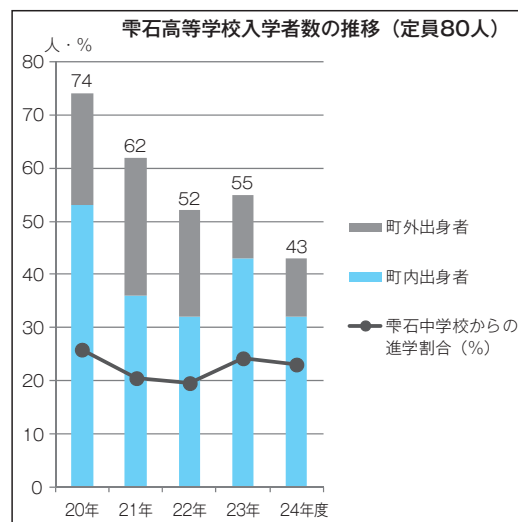
教育長 進学率、就職率が100%という高校は、そうないのではないかと思いますので、そのことについても中学生の保護者に対して言っていく。個別指導が十分にでき、進学等にすごく有利なところもあるので、そういうこともわかってもらえるような説明をして、一人でも多く雫石高校に入学してもらえるように頑張っていく。

問 魅力ある、特色ある学校づくりを支援するため、町において高校にも給食を提供してもらいたい。また、通学困難者のために、雫石中学校のスクールバスを雫石高校生にも利用させてもらいたい。

教育委員長 給食の提供については、調理し搬送できる町内の業者と検討していくこととしている。スクールバスの利用については、定員を満たしている路線もあり、難しいと考えている。

問 スクールバスを利用しなければならない通学困難者はそんなに多くはないと思う。検討していただけないか。

教育長 実際にどのくらい利用できるのか、再考してみたい。



畜産共進会をしのぎやすい時期に

問 雫石町滝沢村連合畜産共進会が今年も猛暑の中で開催されたが、出品者からはもう少ししのぎやすい時期に開催してもらいたいとの声がある。開催日を変更すべきではないか。

町長 来年度以降は6月下旬に開催する方向で日程調整を行う。

■他にこんな質問もしました
・今後の産業振興策について

あれ程の猛暑もやっぱり
お彼岸までだったなあー。
米の品質が心配。

チヨット
ひとりこと



質問者／
岩持清美 議員
いわもちきよみ

春からのクマの出没回数は

町長／過去最高の
一一九件

新高前田住宅の改修計画は

問 町発展のカギは定住人口を増やすことにある。築50年以上も経過している町営住宅、特に新高前田住宅の改修計画はないか。

町長 新高前田住宅等は、公営住宅法で定める木造公営住宅の耐用年数である30年を大幅に経過している。旧耐震基準に基づいて整備されているため、基本性能が大きく劣っている。今後10年間で建て替えスケジュールを設定し、入居者の方々の合意形成を求めていく。

問 熊が頻繁に出没し、毎日のように注意喚起の防災無線放送がある。8月25日には人的被害も発生したが、出没回数と被害実態、その対策はどうか。

町長 今年4月以降、8月末現在のツキノワグマの目撃情報、被害報告は、昨年の約4.6倍119件となっており、平成18年の115件より、さらに多い状況にある。8月25日には農作業中に襲われる人的被害が発生している。トウモロコシ、デントコーン、スイカ、稲等の食害とハウスやガラスの破損など被害額は約700万円と推計している。

公共施設の修繕、補修は

問 町内には多くの公共建築物があるが、補修すれば長持ちする箇所、景観上補修を急ぐべき個所が散見される。その補修計画は。

町長 所管している各課において、施設の状況を確認し計画的に補修修繕する。特に町道のガードレール、河川のフェンスは、危険防止のためでもあり、現状把握に努め順次補修修繕を行う。



河川フェンスが倒れて危険な状態になっている

■他にこんな質問もしました

- ・猛暑と雨不足による被害はなかったか
- ・シカの食害の実態と対策はどうか
- ・架け替え予定の橋のタイムスケジュールは
- ・町営、定住促進住宅の家賃の滞納はあるか

雫石の街道が
花でいっぱいになればいいな。

チョット
ひとりごと



質問者／
た や だて あ い こ
田屋 館 愛 子 議員

町観光事業振興を民間感覚で

町長／旅行者一人当たりの消費単価を向上させる

問 雫石を元気にするには、観光で経済効果を促さなければならないのではないか。

町長 雫石町を連想させるイメージを構築するため、具体的なプロジェクトとして様々な分野の方々と連携し観光関連組織によって構成されるプラットフォーム（基盤）の形成が最も大切であると考えている。

問 癒しに結びつく花を生かした風景づくり事業の今後の取り組みは。

観光商工課長 観光部門計画ということよりも、まちづくり全体を網羅するよう観光まちづくりという概念でこれから動いていく。

問 46号線の交通量は12時間で8,248台と多いが、町内の観光地への道路案内

標識が大変不足している。今後どのように取り組んでいくのか。

観光商工課長 案内標識は日本語、英語表記、視覚的な問題もあるが、ユニバーサルデザインに配慮した標識が今後必要と思っている。

問 雫石十景を町のホームページに掲載しているが、十景にこだわらず百景を募集して、雫石のすばらしい景観をもっとPRしてはどうか。

観光商工課長 季節感のある十景で個人差はあると思うが、隠れた素材を掘り起こすという趣旨でやっている。

昨今の観光客は、エージェントを通さないインターネットの動画等を見て来るお客さんが大分増えている。情報発信は本当に必要だと思っている。



雫石十景の一つ「小岩井農場から見る岩手山」

何事も考えているだけでは
始まらない。
やるべきは早く
実行することです。

チヨット
ひとりこと



質問者
／
上野三四二議員
うわのみよじ

時代に即した農林業の再構築を

町長／基本計画を見直し、情勢に対応

問 町の農林業基本計画、行動計画は時代遅れとなり農業産出額も低落している。食糧供給県の中軸を担う当町が、農業者、行政、団体等一体となって、時代に即した施策を講じ再構築を図る必要がある。一歩前進する農業施策と改善策を伺う。

町長 農林業基本計画は平成27年を目標にしているが、25年度に見直しを行い情勢の変化に対応した農政推進を図る。水稻を中心に零石型複合経営を堅持し、野菜、花き、菌茸、畜産のブランド化など収益性を高めていく。

農林課長 平成23年度の当町農業産出額は現在集計中であるが、74億4千万～76億1千万円で、平成18年度と比較すると7.2～9.3%減額と推計される。所得を上げる戦略を考えたい。

スポーツ振興のための指導者確保対策について

問 先のオリンピックや各種大会で岩手出身の選手の活躍は目覚ましい。当町には世代を担う潜在能力のある子どもたちや青少年が多くいる。個性能力を引き出し選手育成する高レベルの指導者確保をどう考えているか。

町長 県体育協会、当町体育協会が中心となり、関係団体等と連携して活動することが重要であると考えている。町体育協会が各競技組織を強化できる総合的な指導体制を構築

することが急務である。企業やスポーツ団体からのクラブ方式も視野に入れた育成も手法の一つであるとする。体育協会、競技団体、スポーツ少年団の指導者と「本質的な問題」を話し合い、体制をバックアップしたい。当町出身のオリンピック選手の実現に向け努力したい。

クマ、ニホンジカの被害防止対策について

問 クマによる人身危害、農作物被害、民家集落への出没の危険性、またニホンジカの増殖による食害が発生している。危険と甚大な被害が予測される。駆除を含め、緊急防止対策をどのように進めるか。

町長 クマの出没情報が多くあり、被害も大きい。8月25日には人身危害まで発生した。出没がある場合は県の許可を得て、委託している町有害駆除対策協議会が駆除を実施している。ニホンジカの被害防止については、法の定める鳥獣被害防止計画を年内に策定し被害軽減対策を講じていく。



捕獲後に放逐されるクマ



質問者／
いしがめ みつぐ
石亀 貢 議員

チョット
ひとりごと

行政改革と財政改革には
前例踏襲の手法を改め
破壊と創造でないのかな！

委託業務の一括化を

町長／水道事業の委託導入を検討

問 平成 15 年に地方自治法が改正され、公の施設の管理委託が拡大し、スケールメリットが活かせるようになった。本町も、スクールバス、患者輸送バスの運行、学校事務、水道事業、火葬場の運営などを、業務代行を全国的に展開している民間企業に委託、経費節減と役所意識を改め、地域活性化のために一括委託方式を採用すべきと考えるが所信を伺う。

町長 国、地方を取り巻く財政状況が一段と厳しくなっている中、多様化、高度化する住民ニーズに応えるためには、行政サービスを民間が担う方が効率的、効果的な実施方法に見直すことが不可欠である。

また、外部委託によって新たな雇用を創出、地域の活性化になるものと考えている。直ちには、一括委託方式の採用は困難と思うが、コストの削減効果、効率性からより良い委託形態の検討を行い民間活力を活用した有効な外部委託を推進する、現状では水道事業の外部委託導入を今後考えたい。

学校給食のセンター方式を

問 学校給食は、学校教育活動の一環として、食習慣を身につける上で重要な役割を担っているが、適切な実施運営を図っていくことも重要である。平成 22 年度岩手県の学校給食は、完全給食実施校で自校給食率が小学校 18%、中学校 3.9% となっている。少子化、行政改革、財政改革の進展と整合性からセンター方式に移行すべきと考えるが所信を伺う。

教育委員長 自校方式は本町と盛岡市の一部で、他の市町村は給食センター方式で実施している。自校方式とセンター方式にはメリット、デメリットがあるが、子どもたちが育っていく上で、コストには置き換えられない大切なことが実現できるものと考えている。



教育の重要な役割を担う学校給食

町の中の
温泉付き「新道の駅」は
にぎわうだろうなあ。

チョット

ひとりこと



質問者
かとう ますみ
加藤眞純 議員

「道の駅栗石あねっこ」を防災拠点にしては

町長／避難所とはしていない

問 「道の駅」の設備機器は、徐々に更新の時期を迎えるが、ただ単に取り替えたりありきたりのリニューアルではなく、次の災害対応性を強化した設備とすれば、より効果的で効率的な運用ができるのではないか。

1) 避難所、支援活動の拠点
2) 避難者受け入れ 3) 救援物資の供給 4) 農産品等の販売所 5) 自家発電設備の整備（コージェネ設備と小水力発電併用） 6) 情報収集と提供 7) 非常時の運営体制整備

町長 町を中心部から離れた位置であることや火山防災上、防災計画においては避難場所にしていないが、施設に被害が無いことを前提に、提案事項は適宜整備を検討していきたい。

役場近くの46号線沿いに「新道の駅」を

問 現在の道の駅が火山泥流などの危険性があるなら、町のセンターに産直を兼ねた「新道の駅」を整備してはどうか。

町長 今の道の駅がまだ使えるので、さらに営業努力をし、防災提案も検討していきたい。

自然エネルギーの促進を

問 日本のエネルギー自給

率は4%で、エネルギー資源の輸入が止まれば電気、車も止まり、工場もオフィスもすべてが機能停止し、暮らしも産業も壊滅的な打撃を受ける。太陽光発電や小水力発電は地球環境にもよいが、採算が取れない。環境にやさしいという大義名分だけでは庶民には手がでない。町独自で50%の助成をすれば、多くの町民が手を挙げ、関心も高まるのではないか。

環境対策課長 50%補助は公共性の面でできないが、再生可能エネルギーは推進していく。

問 活性化のためといい、殆ど発展性の無い施設の維持管理と赤字対策に税金を浪費しているより、自然エネルギー導入に回す方がよほど効果があり、町の活性化にも繋がる。自然エネルギーは地産地消が最も効率がよく、外的リスクにも強く持続可能であるから、政府の動向を見て云々ではなく、先ず行政が率先して積極的に取り組み啓蒙活動を進め、長いスパンで町民意識の高揚を図っていくことが大切ではないか。

町長 自然環境を大事にして、小規模な自然エネルギーを地域コミュニティー等で展開していくことなどを検討していく。

■他にこんな質問もしました

- ・エネルギー自給率と日本の安全保障
- ・道の駅に自然エネルギーで電気自動車の充電スタンドを
- ・コージェネレーション※の導入

※コージェネレーション

発電時に発生した排熱を利用して、冷暖房や給湯などに利用する熱エネルギーを供給する仕組みのこと。



質問者／
おおむらしょうとう
大村昭東 議員

質問したことに
サッパリ答えていない

チョット
ひとりこと

深谷町政の2年間の検証は

町長／総合計画を着実に推進する

問 深谷マニフェスト町政の2年間でどのように総括、検証、中間評価し、これからどのような取り組みをするのか。

町長 総合計画を事務事業、施策評価しながら、総合計画を着実に推進したい。

問 「民間発想の町行政」とマニフェストにあるが、この2年間でどう反省し、次に進むのか。

町長 できるだけ町民に近い行政のあり方を実施したいというのが趣旨であり、少しずつそういう気風が出てきていると思っている。

問 町民所得10%アップについて、なぜ総合計画に具体的施策を示し、実行計画を作って取り組まないのか。

町長 小坂町が秋田県の町村の中で町民所得が1番になったという状況で、私が大きく貢献したという実績はない。

問 農業総生産5%増に、この2年間でどのような目標、工程を持って進んできたか。

町長 複合経営ということで、畜産、あるいは野菜、菌茸といった生産の規模を拡大していくということである。

問 東北大学の医療チームが重粒子線ガン治療装置の施設を町の未利用地を借用あるいは買い取って100億円規模の施設を整備したいとの申し出があったということであるが、どのような調査、研究、検討をしたか。

町長 東北大学の山田教授が民間機関の方と来庁し、その時の一度の提案で、その後の状況が接触は特にない。

問 住民意識調査に道の駅は特定の組織の人間だけ働く場所になっているが、住民のことをもっと真剣に考えるべき…町長も自覚すべき…とあるが、町民の満足感、納得感、信頼感を得る目標はどうなっているか。

町長 そのような特定な人を選んで配置しているということは、私はしていない。

問 町から高額の財政支援を受けている団体を、町は自治法第157条に基づいて徹底的に実地検査すべきでないか。

企画財政課長 その必要性等については、今後検討しながらより精査に努める。

問 議員の行う質問、発言の一言一句は、町民の意見であり、住民の声であり、住民の疑問であるが、どう受け止め対処しているか。

副町長 真摯に受け止め、対応すべき準備をしている。



農業者の所得改善を

昔は、各学校にボスがいて、
陰湿なイジメはなかったよなあ…。
なんでこんな世の中になったのか
なあ。出でよ、番長！古いか…。

チヨット
ひとりこと



質問者／
幅 秀哉
はば ひでや
議員

いじめの把握はできているか

町長／全ての教員が注意を払っている

問 いじめ問題はどの子にもどの学校でも起こりうるが、当町の現在の不登校、別室学校の数とその児童生徒に対するいじめとの因果関係の調査を行い、状況を把握しているか。

教育委員長 7月現在で不登校数は小学生1名、中学生6名、別室登校数は中学生2名である。いじめとの因果関係が疑われるものが1件ある。いじめの把握は教員による観察、アンケート調査、個別面談を実施し、必要に応じて家庭訪問も行っている。

教員は、いじめはどの学校、どのクラス、どの子にも起こり得ることを充分認識し、すべての教員が少しの変化も見逃さないよう注意を払っている。

教育現場の危機管理体制は

問 想定外の災害や不審者侵入等の学校における危機管理体制の充実強化は必須であるが、どのようなになっているか。

教育委員長 毎年作成している教育計画書の中で、災害発生時の対応要領、消防計画、不審者侵入等緊急時対応要領のほか、不測の事件、事故等の緊急事態対応マニュアルを整備している。

町内小中学校で災

害想定避難訓練を年2～3回、また児童生徒、教職員を対象に不審者侵入時の避難・対応の防犯訓練を実施している。今後、これまで想定していなかった事態をシュミレーションし、地域、消防、警察等関係機関と連帯し危機管理体制を整備する。

今後の観光振興は

問 観光フォーラム終了後の具体的手法とタイムスケジュールはどうなっているか、また特産品開発の進捗率と成果を示せ。

町長 雫石観光・交流活性化行動計画の5基本戦略に基づいた17施策、39プロジェクトのうち8事業を先行実施する。

物産振興指導員を配置し、米粉商品の開発・黒千石大豆茶の試作・雫石牛とワサビのコラボ商品の販売などを実施し、今後も販路拡大活動・販売促進活動費補助・アグリビジネス応援事業費補助等により特産品の開発を進める。





議会へのひとこと ——皆さんの声を聞きました



たかみ かずお
高見 和夫さん
(72歳・滝沢行政区)



よねざわ かんいち
米澤 勘一さん
(67歳・赤滝行政区)

「小学校の 適正配置を急げ」



すわ ひさこ
諏訪 久子さん
(54歳・林行政区)

「除雪について」

私は滝沢行政区に住まいするものですが、幹線道路の除雪が遅いのが随分と気になります。

雫石町の除雪担当課の話では、朝7時ころ作業完了を目標に除雪するように指示しているそうですが、私の住む行政区では朝10時半に幹線道路の除雪に来るのが通常です。

これではサラリーマンの方、また朝出かける方には全然間に合いません。この状況は他の行政区でもあるのでしょうか。

雫石町の除雪対象の幹線道路延長に対し、除雪重機の絶対数が不足しているのか、はたまた除雪業務請負業者の能力以上の雪の量なのか不明ですが、今年は除雪機械を一台購入したようですので、ぜひぜひ今冬は速やかで丁寧な除雪をお願いします。

防犯交通安全協会の役員をしているため、交通安全運動期間中に、南畑小近くの交差点に交通事故防止と通学児童の安全のために、数回立っています。

児童数の減少が著しく、特に最近クマの出没情報で徒歩での登校は数人しかいない。私が小学生のころは、行政区内に30人以上はいたと思いますが、現在5年生が1人で再来年にはゼロになる見込みとか。

人口3千人弱の秋田県東成瀬村は、全国学力テストで常にトップクラスで、小中連携教育が注目されています。少子化に歯止めがかからない現状では、小学校の再編、統合を急ぎ、学力を向上することが望まれます。雫石に生まれてよかったと、誇りと自信を持って成長していけるよう、地域ぐるみで子どもたちを大切に育てていきたいものです。

心のふるさと雫石

四方を山に囲まれ、四季折々の営みを感じられる我がまち雫石町は、町民にとって宝物だと思います。この営みが末永く続き、子ども、孫へ永遠に、永遠に続きつづけることを期待しています。

町民が心を込めた一票、一票がこの町の明日へ、未来へと続きます。議員の皆さまは町民の声に耳を傾け、また声を拾い上げ実践に移していただきたい。たとえ小さな声でも耳を傾けてください。「仕事」「スポーツ」とやる気が伝わるように町民の力を結集しましょう。

過疎化が進み高齢化社会になり、空き家が増えている地方が多くなっているとの報道を目にすると心が痛みます。先人が汗水流し守ってきた資源を守ること。若い人が定住する魅力ある町になるよう議員の皆さま頑張ってください。

ふるさとへの便り— 49

うらかみ えみ
在京雫石町友会 会員 浦上 恵美さん



こよなく愛おしいふるさと雫石

京都に生まれ育った私は、家族と昭和 20 年 2 月の敗戦も色濃くなっていた頃、御所沢 鉦山開発のため、御所村役場近くに移り住んだ。御所沢 鉦山は、昔南部藩が銅を採掘したところで、大村から山伏峠を越え沢内村貝沢にあったと記憶している。雫石駅前に連絡所が、安庭に製材所が（戦後村田製材となる）そして戸沢に鉄工所があった。雫石小学校に転入したが 6 年生の 1 年間を安庭小学校に通った。言葉も服装も違う私はひどいイジメを受けた。

敗戦と共に 鉦山は廃止となり、日本中混乱の時代で、社会党が政権をとり、農地解放、農地改革が叫ばれ、持っていた膨大な土地は国に買収された。そこに清水沢開拓部落ができ、我が家もその一員となり思いもしなかった苦労が始まった。私は中学と高校を雫石まで下駄を履き営林署の軌道を歩いて通った。木々が茂り昼も薄暗かったが、冷たい湧水があったり、白い山百合がところ構わず咲き、時には桐の花が軌道に敷き詰められ、紫のジュータンの上を単語帳をめくりながらハダシで歩いた。枕木の上をカッカッと下駄を打ちつけながら歩くのですぐ割れた。丸太を積んだガソリンカーが来るといつも乗せてもらえた。

積み上げた丸太のてっぺんに跨って安庭橋の鉄橋を渡ると視界が一変して、雫石川添いに下久保田んぼと雄大な岩手山が現れる。学校まであと一息とホッとする場所であった。

盛岡一高雫石分校時代は、独立運動が盛んな時で世の中は女も意見が言える時代になっていた。長く続いた農村の封建社会の中で女性の意識改革を願って、NHK の青年の主張や弁論大会などで虐げられた農村女性の擁護をした。昭和 30 年全国青年弁論大会で最優秀になり私の意見が間違いでなかった事を知る。営林署に就職して窓外にいつも岩手山が額縁に収まったように四季を迎えていた。西山生まれの山男で町役場職員だった早坂仁（共に裏岩手山岳救助隊員）と結婚し高前田住宅に住んで一男を授かり、15 年間営林署の全盛期を過ごした。昭和 46 年に心臓を患い転地療養のため千葉県房総半島の端にある館山市に移り住んで早や 40 年余りが過ぎた。ふるさとの親しい人々は去り、町もすべて変わった。変わりなく有るのは“ふるさとの山”のみ。懐かしさが凝縮された岩手山を見る時はいつも涙があふれる。こよなく愛おしい“ふるさと雫石”！



ありし日の最愛の夫（仁）と。
（平成 21 年 8 月永眠）

書道教室の生徒さんと。
（中央が筆者）



懐石料理「吉亭」の前で

浦上 恵美さんプロフィール
昭和 10 年生まれ。

雫石小学校—安庭小学校—雫石中学校—盛岡一高雫石分校—雫石営林署—（館山市に移住）—司法書士事務所経営—懐石料理「吉亭」開業（女将）。

書道：教室（3 箇所）、書星会審査員、読売書道展評議員他。館山市ボランティア協議会会長。他

雫石町へようこそ



お嫁さん

お婿さん



妻の美紗子さん、長女の樹ちゃんと

ご縁があり、町外から迎えられた
「お婿さん」

たきさわ まさのり
滝澤 正紀さん（33歳 秋田県大仙市出身）
（旧姓：佐々木、上町三行政区在住）

Q- お二人の馴れ初めは？

- 以前、同じ職場に勤めており、そこで出会いました。2年前に結婚を機に雫石町に来ました。

Q- 雫石町に暮らしてみているいかがですか？

- 自然が豊かで、季節の移り変わりを身近に感じられるところが気に入っています。また、何かと支えてくれる周りの人たちの優しさや温かさにありがたい気持ちでいっぱいです。

Q- 町へ望むことは？

- 子どもたちがすくすく育ち、大きくなっても住み続けたいと思える町になってほしいです。

議会の主な動き 8～10月

8月	9月	10～12日
1日 長野県塩尻市議会会派行政視察 来庁来庁	1日 第41回雫石町OB野球大会、 第41回雫石町民相撲大会	11日 JR 東日本盛岡支社への統一要望
2日 第38回雫石町小学校水泳記録会	2日 雫石町総合防災訓練	13日 雫石町スポーツレクリエーション健康祭
4日 第26回岩手県学童野球選手権大会	7～21日 9月定例会	16日 政務調査会
6日 第6回臨時会	17日 敬老会	17日 議会広報編集特別委員会
9～10日 第44回町村議会夏季議員大学講座	26日 議会改革第3小委員会	18日 火山砂防フォーラム、新潟県出雲崎町行政視察来庁
14日 町長旗争奪行政区対抗野球大会	28日 交通安全のぼりロード大作戦	19日 町村議会議員シンポジウム
15日 政務調査会、よしやれ祭	29日 雫中祭	20～21日 しずくいし産業まつり
22～23日 平成24年度中央研修会	10月	23～25日 総務常任委員会先進地視察
27日 住民懇談会（雫石、西山）	1～4日 郡議長会中央実行運動・先進地調査活動	24日 熊本県和水町議会行政視察来庁
28日 郡議長会県内実行運動	5日 雫石東八幡平線道路促進協議会研修会	27～29日 第10回全国和牛能力共進会
29日 住民懇談会（七ツ森、御明神）	9日 議会広報編集特別委員会	29～30日 第77回町村議会広報研修会
30日 住民懇談会（雫石、御所）		31日 宮城県柴田町議会広報視察来庁

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（7月～9月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
7	0件 ー円	4件 15,500円
8	0件 ー円	2件 10,000円
9	0件 ー円	2件 20,000円
小計	0件 ー円	26件 45,500円
累計(1月～9月)	1件 20,000円	37件 188,480円

■編集デスク

8月末の3日間、議会と住民の方々との懇談会が初めて開催されました。たくさんの方の参加はなかったものの、猛暑の中、皆さんから出された意見や質問、また提案などを聞き、住民の「目」になって議会だよりを伝えて行こうと、編集委員会でも話し合っています。

さて、しずくいし議会だよりは、平成23年度の町村議会広報全国コンクールで優良賞をいただきました。今年度は他県からの視察が多く、その効果に驚いていますが甘んじることなく、読み手にわかりやすく納得のいく紙面づくりに励みます。

マンネリから発想の転換も必要かもしれません。皆さまのご意見ご指摘、アイデアをお待ちしております。（編集委員 山崎留美子）

●今号の表紙／本誌の表紙は、「まちの笑顔」シリーズでお届けいたしております。笑顔が絶えないまちの元気な子供たちの様子を紹介。今回は、「西根小学校の学童保育（にこにこクラブ）」に通う児童たちの笑顔です。